# 4 実施施策

実施施策は、下表のとおりです。

短期及び中長期施策について、相互に密接に関連しています。

検討の方向性		こりいく、相互に仏族に角座しく	施策概要
「火巾」「ノノノ」「ド」「エ		短期	中長期
地域状況に応じたバス路線への再構築	幹線・フィーダー(支線)公共	A. 公共交通軸の強化 ・乗降客の状況を考慮しつつ、公 共交通軸(柏の葉キャンパス駅 〜柏駅〜沼南庁舎周辺)の利便 性・速達性の向上を図ります。	線について、幹線交通(公共交通軸区間
	交通での効率 的な運行のた めの施策		フィーダー公共交通 (幹線以外) における施策 c. フィーダー系統路線の見直し ・拠点に繋がるフィーダー系統については、地域の状況に応じて、路線の見直しを実施します。 d. バス速達性向上のための道路整備促進 ・柏駅〜柏の葉キャンパス駅を結ぶ新たな都市計画道路を整備します。 e. 新たな交通サービスの提供 ・将来のまちづくり等も踏まえた、魅力ある新交通システムの検討を行います。 ・ICTの活用や自動運転等の新たな技術に関しての検討も行います。
	日常生活に根ざした交通導入のための施策	C. コミュニティ交通の運行形態 見直し ・現在運行している「かしわ乗合 ジャンボタクシー」「カシワニ クル」の再編により、更なる利 便性の向上を図るとともに、周 知施策を実施します。 D. 公共交通空白不便地域におけ る対応策の検討 ・市内の公共交通空白不便地域 において、地域の需要に対応した、公共施設や商業施設等への アクセスを検討します。	f. 公共交通空白不便地域における公共交通の適切な見直し ・コミュニティ交通に関して、地域の状況に応じて見直しを実施し、より適切な運行の検討を行います。 ・公共交通空白不便地域をカバーする交通については、先行して行われる地域におけるモデルケースを参考に、地域住民が主体となった協議会との協議・連携を踏まえ、確保を図ります。  g. 周辺施設との連携検討 ・商業施設等と連携して、公共交通を利用した来訪者への支援策を実施します。

フィーダー:交通網において、幹線と接続して支線の役割をもって運行される交通のこと コミュニティ交通:行政が関与する交通(かしわ乗合ジャンボタクシーや予約型相乗りタクシー「カシワニクル」、コミュニティバス等)のこと

や計の十句は	施策概要		
検討の方向性	短期	中長期	
交通モード間 の円滑化を推 進	E. 駅前広場の待合環境整備 ・駅前広場を中心にバス、タクシー乗場の利用環境改善のため上屋、ベンチの整備を図ります。	h. 鉄道駅の交通結節点の機能強化 ・柏駅東西口、北柏駅北口、高柳駅東口駅前広場整備により鉄道と他の公共交通との結節点機能を強化します。 i. 賑わいのある拠点の整備・強化 ・沼南のふれあい交流拠点の核として公共交通軸及び交流交通の受皿となるターミナルを整備します。 j. 地域施設と連携した快適な待合環境の確保 ・バス路線沿道の公共施設や商業施設と連携し、待合スペースの確保や接近情報の提供を行い、安全で快適にバスを待つことができる環境づくりを進めます。	
	F. ICT を活用した情報案内の実施 ・鉄道やバスの乗り継ぎ、運行案内の ため、統合サイトやアプリの整備を 行うほか、来訪者でもわかりやすい よう、交通結節点での情報案内の構 築を図ります。	k. サイクル&バスライドの促進 ・駐輪環境の整備により、サイクル&バスライドの促進を図ります。	
高齢者等に配 慮した交通環 境の構築		I. 高齢者等の移動支援 ・高齢者等が公共交通を使いやすいよう、民間 企業とも連携して支援制度の構築を図りま す。	
中心市街地活 性化に向けた 公共交通と自 動車の共存	ル導入	・上の交通処理とあわせて、フリンジパーキン	
公共交通利用 促進	I. 公共交通の周知施策 ・柏市内小学校の授業において、バス事業者と連携してモビリティマネジメント教室を実施します。また、柏市バス路線マップの配布・作成を継続して実施します。	n. 公共交通の周知施策 ・「柏交通だより(仮称)」や出前講座の実施 及びホームページの充実など、協働で交通施 策を推進するような意識付けを促す施策を 実施します。	

ICT:情報・通信に関する技術のこと

サイクル&バスライド: 自宅からバス停まで自転車で移動し、バス停にある駐輪施設に自転車をとめてバスに乗換え移動 すること

ユニバーサルデザイン (UD) タクシー:足腰の弱い高齢者や車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の女性等、だれもが利用しやすいように工夫がなされているタクシー車両のこと

ショットガン方式:駅前のタクシーの乗車待ち状況にあわせて、駅前から離れたタクシープールに停車しているタクシーを無線等で呼び出す方法

フリンジパーキング:中心市街地への自動車の流入を抑制するため、中心市街地の縁辺部に駐車場を整備すること モビリティマネジメント:過度に自動車に頼る状態から公共交通や自転車などを「かしこく」使う方向へと自発的に転換 することを促す、コミュニケーションを中心とした持続的な一連の取り組みのこと



図 4-1 実施施策の位置図(短期)



図 4-2 実施施策の位置図(中長期)

# 4.1 短期施策

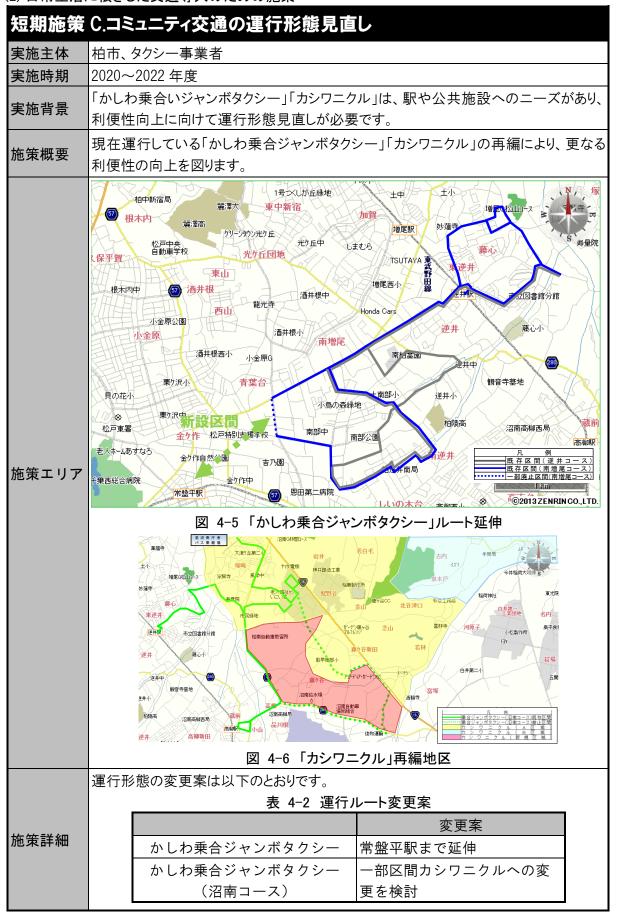
- 1) 地域状況に応じたバス路線への再構築
- (1) 幹線・フィーダー(支線)公共交通での効率的な運行のための施策

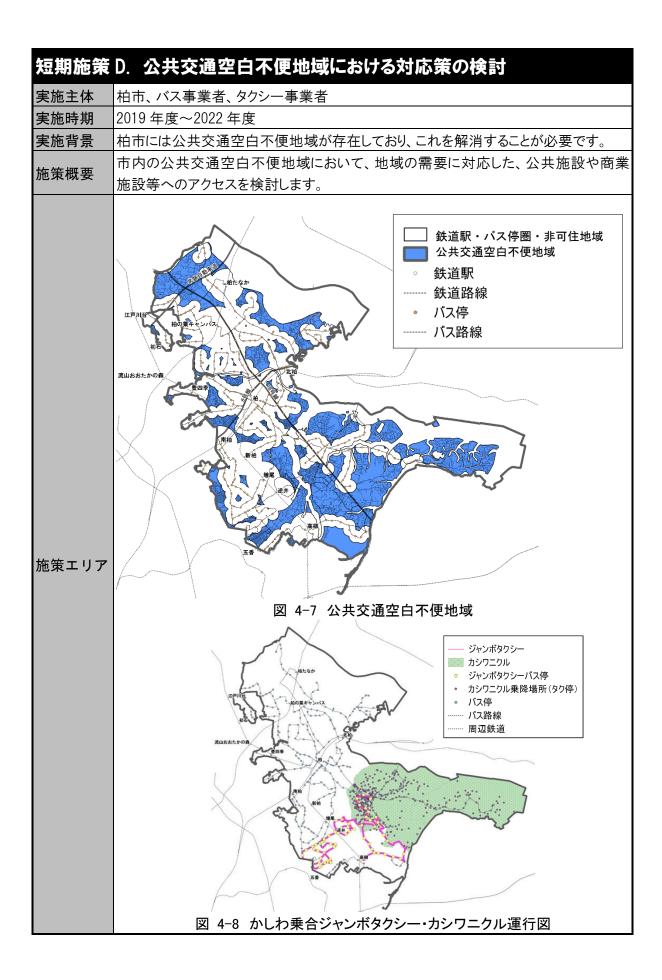
	プ (文献) 五六文通 (の効率的な建物のにめの心泉			
短期施策	A. 公共交通軸の強化			
実施主体	柏市、バス事業者			
実施時期	2019~2022 年度			
74.02 1777	柏駅と東部地域、柏の葉キャンパス駅をつなぐバス路線では、柏駅から距離が離			
	れるにつれてバス乗客数が減少しており、一部路線延長が長り			
実施背景	的な運行となっている一方で、柏駅周辺では路線の集中により団子運行が発生			
7 2	しています。このため段階的なバス路線の再編が望まれており、短期的に			
	しています。このため段階的なバス路線の再編が望まれており、短期的には利用 者にとって使いやすい幹線区間の構築が必要です。			
16 65 100 TE	バス乗降客の状況を考慮しつつ、公共交通軸(柏の葉キャンパ	バス乗降客の状況を考慮しつつ、公共交通軸(柏の葉キャンパス駅~柏駅~沼南		
施策概要	庁舎周辺)の利便性・速達性の向上を図ります。			
	図 4-3 公共交通軸 			
施策エリア	幹線公共交通 図 4-3 公共交通軸			
施策エリア	幹線公共交通 図 4-3 公共交通軸 表 4-1 対象路線	幹線区間		
施策エリア	幹線公共交通 図 4-3 公共交通軸	幹線区間		
施策エリア	幹線公共交通         図 4-3 公共交通軸         表 4-1 対象路線         路線記号       経路	<b>幹線区間</b> 各路線の		
施策エリア	幹線公共交通         図 4-3 公共交通軸         表 4-1 対象路線         路線記号       経路         柏 22       柏駅~沼南庁舎~小野塚台			
施策エリア	幹線公共交通図 4-3 公共交通軸表 4-1 対象路線路線記号経路柏 22 柏駅〜沼南庁舎〜小野塚台柏 25 柏駅〜沼南庁舎〜布瀬柏 27 柏駅〜沼南庁舎〜手賀の丘公園柏 31 柏駅〜沼南庁舎〜セブンパークアリオ柏〜沼南車庫	各路線の		
施策エリア	幹線公共交通図 4-3 公共交通軸表 4-1 対象路線路線記号経路柏 22 柏駅〜沼南庁舎〜小野塚台柏 25 柏駅〜沼南庁舎〜布瀬柏 25 柏駅〜沼南庁舎〜手賀の丘公園柏 31 柏駅〜沼南庁舎〜モブンパークアリオ柏〜沼南車庫柏 35 柏駅〜沼南庁舎〜工業団地中央〜沼南車庫	各路線の 柏駅〜沼南庁 舎		
施策エリア	幹線公共交通図 4-3 公共交通軸表 4-1 対象路線路線記号経路柏 22 柏駅〜沼南庁舎〜小野塚台柏 25 柏駅〜沼南庁舎〜布瀬柏 27 柏駅〜沼南庁舎〜手賀の丘公園柏 31 柏駅〜沼南庁舎〜モブンパークアリオ柏〜沼南車庫柏 35 柏駅〜沼南庁舎〜工業団地中央〜沼南車庫柏 09 柏の葉キャンパス駅東口〜柏駅	各路線の 柏駅〜沼南庁 舎 - 柏駅〜柏の葉		
施策エリア	幹線公共交通図 4-3 公共交通軸表 4-1 対象路線路線記号経路柏 22 柏駅〜沼南庁舎〜小野塚台柏 25 柏駅〜沼南庁舎〜布瀬柏 27 柏駅〜沼南庁舎〜手賀の丘公園柏 31 柏駅〜沼南庁舎〜モブンパークアリオ柏〜沼南車庫柏 35 柏駅〜沼南庁舎〜工業団地中央〜沼南車庫柏 09 柏の葉キャンパス駅東口〜柏駅西柏 02 柏の葉キャンパス駅西口〜柏駅	各路線の 柏駅〜沼南庁 舎 - - - - - - - - - - - - - - - - - -		
施策エリア	幹線公共交通図 4-3 公共交通軸表 4-1 対象路線路線記号経路柏 22 柏駅〜沼南庁舎〜小野塚台柏 25 柏駅〜沼南庁舎〜布瀬柏 27 柏駅〜沼南庁舎〜手賀の丘公園柏 31 柏駅〜沼南庁舎〜セブンパークアリオ柏〜沼南車庫柏 35 柏駅〜沼南庁舎〜エ業団地中央〜沼南車庫柏 09 柏の葉キャンパス駅東口〜柏駅西柏 02 柏の葉キャンパス駅西口〜柏駅幹線区間は利便性が高まるような運行本数を設定し、快速運行	各路線の 柏駅〜沼南庁 舎 柏駅〜柏の葉 キャンパス駅 行の実施を検討		
施策エリア	幹線公共交通図 4-3 公共交通軸表 4-1 対象路線路線記号経路柏 22 柏駅〜沼南庁舎〜小野塚台柏 25 柏駅〜沼南庁舎〜布瀬柏 27 柏駅〜沼南庁舎〜手賀の丘公園柏 31 柏駅〜沼南庁舎〜モブンパークアリオ柏〜沼南車庫柏 35 柏駅〜沼南庁舎〜工業団地中央〜沼南車庫柏 09 柏の葉キャンパス駅東口〜柏駅西柏 02 柏の葉キャンパス駅西口〜柏駅幹線区間は利便性が高まるような運行本数を設定し、快速運行ます。なお、フィーダー区間は需要面と事業性及び地域の状況	各路線の 柏駅〜沼南庁 舎 柏駅〜柏の葉 キャンパス駅 行の実施を検討		
施策エリア	<ul> <li>幹線公共交通</li> <li>図 4-3 公共交通軸</li> <li>表 4-1 対象路線</li> <li>路線記号</li> <li>柏 22 柏駅〜沼南庁舎〜小野塚台</li> <li>柏 25 柏駅〜沼南庁舎〜布瀬</li> <li>柏 27 柏駅〜沼南庁舎〜手賀の丘公園</li> <li>柏 31 柏駅〜沼南庁舎〜セブンパークアリオ柏〜沼南車庫</li> <li>柏 35 柏駅〜沼南庁舎〜エ業団地中央〜沼南車庫</li> <li>柏 09 柏の葉キャンパス駅東口〜柏駅</li> <li>西柏 02 柏の葉キャンパス駅西口〜柏駅</li> <li>幹線区間は利便性が高まるような運行本数を設定し、快速運行ます。なお、フィーダー区間は需要面と事業性及び地域の状況本数を設定します。</li> </ul>	各路線の 柏駅〜沼南庁 舎 柏駅〜柏の葉 キャンパス駅 行の実施を検討 を考慮して、運	行	
	幹線公共交通   図 4-3 公共交通軸   表 4-1 対象路線   接路   検路   検路   性野   検路   性野   検路   性野   検路   性野   検路   性野   性野   性野   性野   性野   性野   性野   性	各路線の 柏駅〜沼南庁舎 ・柏駅〜柏の葉 キャンパス駅 行の実施を検討 を考慮して、運	【行 【セ	
	幹線公共交通   図 4-3 公共交通軸   表 4-1 対象路線   接路   接路   検路   検路   相 22   柏駅〜沼南庁舎〜小野塚台   柏 25   柏駅〜沼南庁舎〜布瀬   柏 27   柏駅〜沼南庁舎〜手賀の丘公園   柏 31   柏駅〜沼南庁舎〜モブンパークアリオ柏〜沼南車庫   柏 35   柏駅〜沼南庁舎〜工業団地中央〜沼南車庫   柏 09   柏の葉キャンパス駅東口〜柏駅   西柏 02   柏の葉キャンパス駅西口〜柏駅   幹線区間は利便性が高まるような運行本数を設定し、快速運行ます。なお、フィーダー区間は需要面と事業性及び地域の状況本数を設定します。また、現状では一部系統(柏駅〜沼南庁舎間(片道)及び柏駅へフター)においてパターンダイヤ※1を行っていますが、今後、1	各路線の 柏駅〜沼南庁舎 ・柏駅〜柏の葉 キャンパス駅 行の実施を検討 を考慮して、運	(セ	
	幹線公共交通   図 4-3 公共交通軸   表 4-1 対象路線   日本 22   相駅〜沼南庁舎〜小野塚台   相 25   相駅〜沼南庁舎〜布瀬   相 27   相駅〜沼南庁舎〜千瀬の丘公園   相 31   相駅〜沼南庁舎〜モブンパークアリオ柏〜沼南車庫   相 35   相駅〜沼南庁舎〜エ業団地中央〜沼南車庫   相 35   相駅〜沼南庁舎〜工業団地中央〜沼南車庫   相 09   相の葉キャンパス駅東口〜柏駅   西柏 02   柏の葉キャンパス駅西口〜柏駅   一本 102   中央 200   中央 200	各路線の 柏駅〜沼南庁舎 ・柏駅〜柏の葉 キャンパス駅 行の実施を検討 を考慮して、運	(セ	
	幹線公共交通   図 4-3 公共交通軸   表 4-1 対象路線   経路   経路	各路線の 柏駅〜沼南庁 舎 柏駅〜柏の東 キャンパスを 行の実施して、 を考慮して、研究 幹線区間での拡	行 た 充	
	幹線公共交通   図 4-3 公共交通軸   表 4-1 対象路線   経路	各路線の 柏駅〜沼南庁 舎 柏駅〜柏の東 キャンパスを 行の実施して、 を考慮して、研究 幹線区間での拡	行 た 充	
施策詳細	幹線公共交通   図 4-3 公共交通軸   表 4-1 対象路線   経路   経路	各路線の 柏駅〜沼南庁 舎 柏駅〜柏の東 キャンパスを 行の実施して、 を考慮して、研究 幹線区間での拡	行と充	

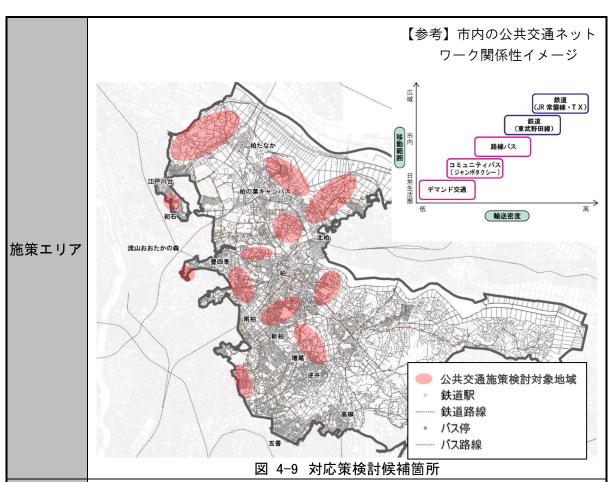
※1:一定の間隔で周期的に運行されるダイヤグラム。

经国目: 医基金管	
应规心果	B.企業バス等との連携検討
実施主体	柏市、商業施設事業者、病院、学校等
実施時期	2019~2022 年度
実施背景	公共交通空白不便地域を民間バス路線で全て網羅することは現実的に困難です。地域において移動性を向上させるためには、行政によるコミュニテイ交通 にとどまらず、民間活力の活用が必要です。
施策概要	交通弱者などの移動手段として、活用可能な病院や商業施設などの企業が独自 で運行している送迎バスの周知や連携を検討します。
施策エリア	柏市全域
施策詳細	民間活力として企業が独自で運行している送迎バスの活用検討を進めるとともに、自動運転等の新たな交通技術に関しても検討を行います。    RM

### (2) 日常生活に根ざした交通導入のための施策







公共交通空白不便地域の解消に当たっては、民間バス路線の再編を基軸とし、これを補完するような施策を導入します。

公共交通空白不便地域のうち、南部地域及び東部地域の一部において、かしわ乗合ジャンボタクシー及び予約型相乗りタクシー「カシワニクル」によって民間バス路線を補完しています。

これら施策の対象者は、公共交通空白不便地域で自家用車等での移動が出来ない方と設定し、そのような方々の日常生活(買物、通院等)における移動手段を確保することを、目的とします。

### 施策詳細

また、地域の交通需要(輸送人数)に応じた交通手段とし、地域の足として持続可能な公共交通を目指していきます。

なお、公共交通空白不便地域等における交通を検討する際には、 地域住民が主体となった協議会 組織に柏市及び交通事業者も参 画して、協議を進める手法も検討 します。

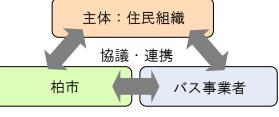
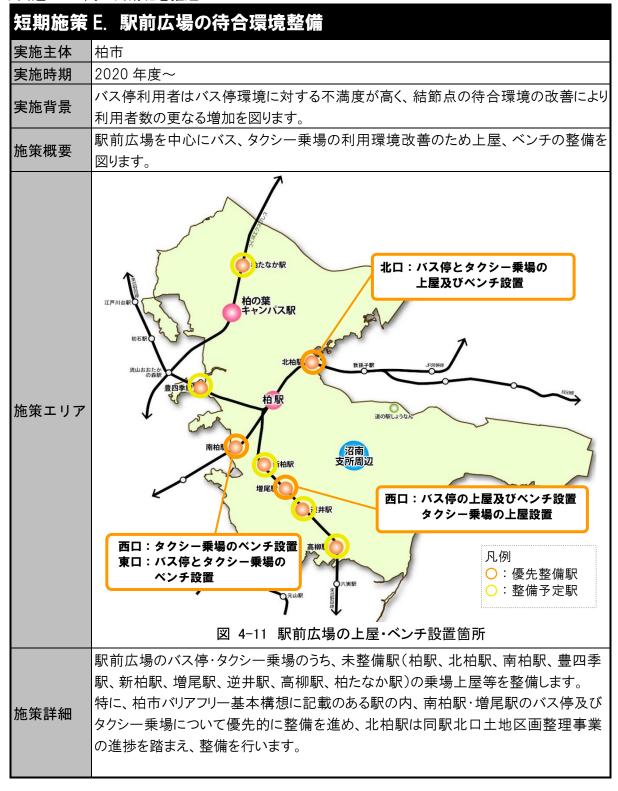


図 4-10 協議会組織連携概念

#### 2) 交通モード間の円滑化を推進



短期施策	F. ICTを活用した情報案内の実施
実施主体	柏市、鉄道事業者、バス事業者
実施時期	2020 年度~
実施背景	バス利用者アンケート調査によるとバスの運行情報に対する不満度・重要度が高くなっています。バスの利用者を増加させるためには、バスの運行情報をわかりやすく利用者に伝える情報案内が必要です。
施策概要	鉄道やバスの乗り継ぎ、運行案内のため、統合サイトやアプリの整備を行うほか、来訪者でもわかりやすいよう、交通結節点での情報案内を実施します。
施策エリア	柏市全域
施策詳細	以下の事例のように、利用者目線でのわかりやすさに配慮します。

# 3) 高齢化に配慮した交通環境の構築

ことです。

3) 高齢化に配加	<b>慮した交通環境の構築</b>		
短期施策	G. 車両バリアフリー化の促進		
実施主体	柏市、バス事業者、タクシー事業者		
実施時期	2018 年度~		
実施背景	今後高齢化の一層の進展が予想され 整備する必要があります。	ており、高齢者等にとって使いやすい公共交通を	
施策概要	今後、車両の買換え時を含めてノンス ザインタクシーの導入を促進することで	ステップバスを導入するとともに、ユニバーサルデ でバリアフリー化を進めます。	
施策エリア	柏市全域		
	ノンステップバス導入率は以下のとおり	りです。	
	表 4-3 /ン	ノステップバスの導入率	
		現状	
	ノンステップバス	約 87. 1%(194 台中 169 台)	
施策詳細		出典: UD タクシー研究会 HP         図 4-15 ユニバーサルデザインタクシー         建常者だけではなく足腰の弱い高齢者、車いす使用	
	者、ベビーカー利用の親子連れ、妊	娠中の方など、誰もが利用しやすいタクシー車両の	

# 4) 中心市街地活性化に向けた公共交通と自動車の共存

短期施策	H. ショットガン方式のタクシープール導入
実施主体	柏市、タクシー事業者
実施時期	2019~2022 年度
	柏駅東口駅前広場では、買い物や駅への送迎による自動車の集中や客待ちタクシー
実施背景	の待機列(休日を除く)により交通混雑が見られ、路線バスの定時運行や緊急車両通
	行への影響が危惧されます。
施策概要	柏駅東口周辺道路の客待ちタクシー列を解消するため、ショットガン方式によるタクシー
	プールの導入を図ります。
	柏市では 2016 年度に本施策の社会実験を実施しています。
	社会実験時のタクシープール及びタクシー待機駐車場は、以下の図のとおりです。
施策エリア	東口駅前広場 東口駅前広場 東口駅前広場 東口駅前広場 東口駅前広場 東口駅前広場 東口駅前広場 東口駅前広場 大町道り 東山駅前広場
	出典:柏市資料
	図 4-16 タクシープール及びタクシー待機駐車場(2016 年社会実験時)
	2016年度社会実験時には、タクシー待機駐車場を立体駐車場である市営駐車場の7
	階及び屋上に設置していました。しかし立体駐車場では、タクシーの出入りを含め効率
	性の観点から課題が見られたため、本施策においては、平面駐車場で実施する社会実験を探え、前回実験結果と比較検討を行ったとで効果的ななない。一プールを確保し
	験を踏まえ、前回実験結果と比較検討を行った上で効果的なタクシープールを確保し  ます。
施策詳細	市営駐車場フト配置図
	出典:柏市資料
	図 4-17 立体駐車場を利用した待機駐車場(2016 年社会実験時)

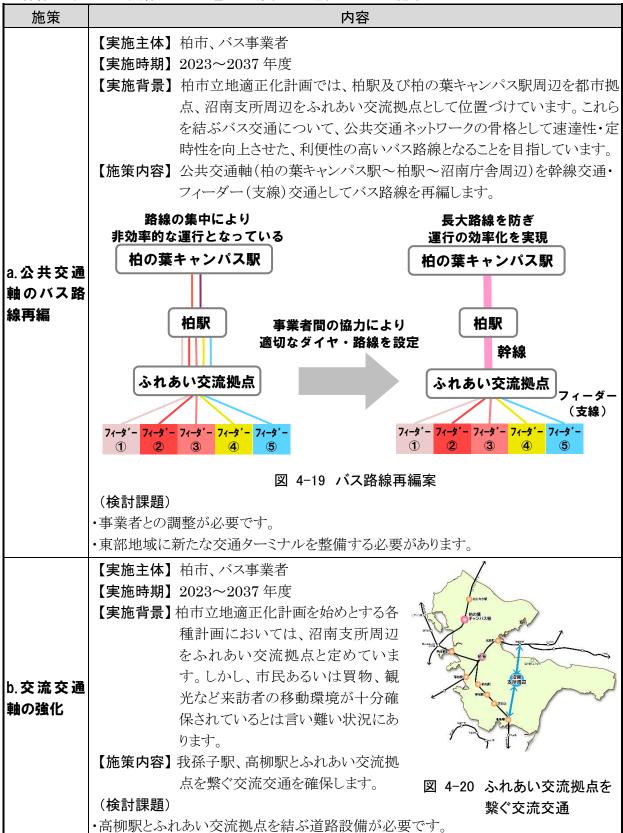
## 5) 公共交通利用促進

短期施策	. 公共交通の周知施策
実施主体	柏市、教育委員会、バス事業者等
実施時期	2018 年度~
	柏市ではモータリゼーションの進展に伴い道路混雑が発生しているとともに、バスの利用
実施背景	者離れが進んでいます。このような状況を改善するために、主に利用者啓発を行うこと
	で、自動車からバスへの転換を促すことが必要です。
施策概要	柏市内小学校の授業において、バス事業者と連携してバスの乗り方教室を実施しま
	す。加えて、柏市バス路線マップ作成・配布を継続して実施します。
	将来自動車を利用することになる児童に「望ましい交通のあり方」を学校教育の現場で
	考えさせ、それを通して児童の社会性を育むと同時に柏市のモビリティを効果的に改善
	させていくことを目指します。
	また、柏市バス路線マップの作成・配布を継続して実施していきます。
	「夫昭士の本何】
	【秦野市の事例】
	児童が将来クルマだけに頼り過ぎない交通利用意識を醸成させるとともに、保護者が授
	業参観や児童を通じた啓発からクルマの利用を考えるきっかけを作り出すことを目的に、「交通スリム化教育」を実施しています。
	に、「文通人り本化教育」を美施しています。
施策詳細	
	図 4-18 バスの乗り方教室の様子

#### 4.2 中長期施策

中長期施策は2023~2037年度に実施する施策です。

- 1) 地域状況に応じたバス路線への再構築
- (1) 幹線・フィーダー(支線)公共交通での効率的な運行のための施策



施策		内容
	【実施主体】	柏市、バス事業者
	【実施時期】	2023~2037 年度 →: フィーダー交通
	【実施背景】	柏市立地適正化計画で位
		置づけられている生活拠
		点や暮らしの小拠点に
		日々の生活に必要な都市
c.フィーダー		機能を担う施設を誘導す
系統路線の		る方針であり、これらの拠
見直し		点へアクセスする手段とし
		て、路線バスやデマンド
		交通が集まる場所となるよ
		うに、効果的なネットワー 図 <b>4-21 フィーダー交通</b>
		クの再編を進めていくことが必要です。
	【施策内容】	拠点に繋がるフィーダー系統については、地域の状況や需要に応じて
	F=14-3 11 =	路線の見直しを実施します。
	【実施主体】	
		2027~2037 年度
	【美肔育京】	市内では国道16号など幹線道路を中心に慢性的に混雑し、バスの定時
		運行に影響が及んでいることから、自動車交通の円滑化に向け、市内道 路ネットワークを考慮した新たな都市計画道路の整備が必要です。
	【恢笙内灾】	始ポットケークを考慮した利にな都川計画追路の整備が必要です。 柏駅から柏の葉キャンパス方面に向かう幹線ルートである国道16号、及
	【心束内台】	び西口3号線の概ね中間でバイパス的機能を有する都市計画道路の整
		備を促進します。
		また、速達性を向上させるため、道路整備にあわせて PTPS*導入を検
		計します。
		※バス等の公共車両が優先的に通行できるように支援するシステムのことであり、
		バス専用・優先レーンの設置や優先信号制御等を行う。
d.バス速達		
性向上のた		
めの道路整		和作品力限
備促進		相の葉 キャンバス駅
		THE STATE ST
		Philippin Barry
		10年 10年 10日
		Medical Control Contro
		を分一位 召南 安新風辺
		対視板 かかまでは でかっては
		Table 1
		NEW
		THE TOTAL PROPERTY OF THE PROP
		図 4-22 都市計画道路の整備促進の方針

施策	内容	
	【実施主体】柏市、バス事業者、民間事業者等	
	【実施時期】2023~2037 年度	
	【実施背景】都市軸を強化し、都市拠点やふれあい交流拠点を相互に過	重携しなが
	ら、交流機能を持たせた新しい交通システムの導入可能性る必要があります。一方で、柏の葉キャンパス駅周辺には原学術研究機関が立地しており、交通に関する最先端の研究がいます。そのような優位性を最大限に活かし、将来を見据えば通サービスをいち早く取り入れます。 【施策内容】将来のまちづくり等も踏まえた、魅力ある新交通システムの検す。また、ICTの活用や自動運転等の新たな技術、シェアリン	東京大学等 が行われて た新たな交 討を行いま
	等に関しての検討も行います。	

# e. 新 た な 交 通サービスの 提供



図 4-23 新潟市 BRT



出典:SBドライブ HP

図 4-24 自動運転バス

#### (2) 日常生活に根ざした交通導入のための施策

施策	内容
f.空域公適し 共不お交を 受便け通見	【実施主体】柏市、バス事業者、タクシー事業者 【実施時期】2023~2037 年度 【実施背景】短期施策 C.コミュニティ交通の運行形態見直し及び短期施策 D.公共交通空白不便地域における対応策の検討の中で実施した内容について、利用状況等を確認し、必要に応じて見直す必要があります。 【施策内容】コミュニティ交通の利用状況等を分析し、適切な見直しを行うことで更なる利便性の向上を図ります。
g.周辺施設 との連携検 討	【実施主体】柏市、バス事業者、商業施設事業者、商店街組合 【実施時期】2023~2037 年度 【実施背景】持続可能な公共交通体系の構築や中心市街地における道路混雑緩和のために、公共交通利用者数増加を図る必要があります。 【施策内容】公共交通を利用して商業施設を訪れた場合に、利用者にとってメリットが発生するような施策を実施します。  【土浦市の事例】 まちづくり活性化バスを利用して協賛店舗で一定金額以上の買い物をすると、運賃補助券として利用できる地域通貨を発行しています。  【表示の事例】  「本の事例】  「本の事例」  「本の事例」  「本の事例】  「本の事例」  「本の事例」  「本の事例」  「本の事例」  「本の事の事のよることができません。 最初にての必要し、場合に対しています。 は 関連に対しての場合に対象では まず。 と、 職業に関連に対しています。 関連によってのと関い、関連に表現しています。 関連によってのと関い、関連に表現しています。 最初の最近は対象で、 関連によって、 関連によってのと関います。 と、 は、 まずら)の集団は関連し、 は まずら と、 は は に で まがら と に は まがら と に は は に で まがら と に は は は は は は は は は は は は は は は は は は

# 2) 交通モード間の円滑化を推進

施策		内容
	【実施主体】	柏市、鉄道事業者
	【実施時期】	2023~2037 年度
	【実施背景】	公共交通利便性向上のために、鉄道とバス、タクシー等の結節機能を強化
		することが望まれます。
	【施策内容】	市内各駅のバリアフリー化を図ることにより鉄道と他の公共交通との結節点
		機能を強化します。
h. 鉄道駅の 交通結節点 の機能強化		相のな 第4年 アンバス駅  「



施策		内容
7,,	【実施主体】	柏市、バス事業者、民間事業者
		2023~2037 年度
	【実施背景】	バス利用者アンケート調査によると、バス停の快適性への不満度が高
		く、快適な待合環境の整備が望まれています。しかし、全てのバス停で
	快適な待合環境を整備することは困難であり、民間活力の活用が望ま	
		れます。
	【施策内容】	バス路線沿道の公共施設や商業施設と連携し、待合スペースの確保や
		接近情報の提供を行い、安全で快適にバスを待つことができる環境づ
j.地域施設と		くりを検討します。
連携した快		BUS NAV 8
適な待合環		AND THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NAMED
境の確保		のコンビニ等において、
		の確保や接近情報の提供を
	行っています。	TARAM DIEM
		間中・友証力・ドン日本で 像の後世里をご照入い仇女くだ。 988 31007 A2 1011
		5500 I 1500 icc
		出典:八戸市地域公共交通網形成計画 (2016 年 3 月)
		図 4-30 八戸市の BUS NAVI8
	【実施主体】	柏市、バス事業者
	【実施時期】	2023~2037 年度
	【実施背景】	柏市自転車総合計画によると、サイクル&バスライドは、バス交通が不
		十分な地域を自転車が補完するような役割を担うことにより、公共交通
		空白不便地域の解消や公共交通の利用促進に結びついていく取組で
		あり、自動車から「公共交通+自転車」への転換による環境負荷低減
	【佐笙山索】	の観点からも期待されています。 駐輪環境の整備によりサイクル&バスライドの促進を図ります。大津ヶ
	【旭宋内台】	丘団地バス停、中ノ橋等一部のバス停や十余二等一部バス回転場
		においてサイクル&バスライドが機能しています。今後も利用ニーズ
k.サイクル&		を踏まえた駐輪場などの
バスライドの		整備を推進し、自転車と
促進		バスの乗換えの利便性
		を向上させ、通勤・通
		学、高齢者等の移動、
		観光・レクリエーション等
		の利用に供する交通手
		段として、サイクル&バ
		スライドの拡充を図りま
		す。 出典:柏市自転車総合計画(2015年4月)
I	I	

図 4-31 サイクル&バスライドのイメージ(宇都宮市)

## 3) 高齢者等に配慮した交通環境の構築

## 4) 中心市街地活性化に向けた公共交通と自動車の共存

4) 中心巾街均	也活性化に同けた公共交通と目動車の共存
施策	内容
	【実施主体】柏市、バス事業者等、警察
	【実施時期】2023~2037 年度
	【実施背景】柏市では中心市街地の自動車交通量が多く、渋滞を発生させています。
	また、中心市街地における歩きやすさを確保し、中心市街地の魅力向上
	を図る必要があります。
	【施策内容】駅周辺の細街路等に自動 <sub>■駐車場整備地区位置図</sub>
	車ができるだけ流入しない
	よう、交通処理を検討しま
	す。また、フリンジパーキン
	グ施策による自動車での
m.中心部へ	来訪者の流入規制を検討
の自動車流	します。
入規制	
	出典:柏市都市計画課 HP
	図 4-33 駐車場整備地区

# 5) 公共交通利用促進

施策	内容								
	【実施主体】柏市、教育委員会、バス事業者、民間事業者								
	【実施時期】2023~2037 年度								
	【実施背景】柏市ではモータリゼーションの進展に伴い道路混雑が発生しているとと								
	もに、バスの利用者離れが進んでいます。このような状況を改善するた								
	めに、主に利用者との適切なコミュニケーションを行うことで、自動車か								
	らバスへの転換を促すことが必	<b>必要です。</b>							
	【施策内容】短期施策とあわせて、幅広い	年代への公共交通の利用促進に向け、							
	「柏交通だより(仮称)」や出育	<b>前講座の実施、ホームページの充実及び</b>							
	免許返納時における柏市バス	、路線マップ配布などを実施します。							
		8 2864V WAX 2009 VALSERS							
	地たちの ・ できば、か ・ できば、か ・ できば、か ・ できば、か ・ できば、か ・ できば、か ・ できば、か ・ できば、か ・ できば、か ・ できばない。 ・ できなない。 ・ できななない。 ・ できなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	第一日のシェマを ・ 大の中では ・ 大のでは ・ 大ので ・ 大のでは ・ 大のでは ・ 大のでは ・ 大のでは ・ 大のでは							
n.公共交通	クラック ラック タック 交通がより タック マック マック マック マック マック マック マック マック マック マ	Long Hard College Services College Servi							
の周知施策	STATE OF THE STATE	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1							
	「本語・ 「本語・ 「本語・ 「本語・ 「本語・ 「本語・ 「本語・ 「本語・	アンケート調査を実施しました 平成21年2月に、内保がの連邦率に対する用意性、今後の代表研除に対							
	The control of the co	する機能等について記憶するも、アンテー・開発を開送。後した。 4 子書							
		## 26人女女選手教を借っている?  「印書を知べたい場合の文庫を担いは日本が書きたく、「教諭等さつ  利用学校) ロセルムが付きの日本時期とひっています。  # 1 大規模の名人などことが生まった。    1							
	和たちにできること ■マイカーの間を変えら の品質の発展があったと のので、イトンに対象がある。 は、のかの記念があるので、200 のので、イトンに対象がある。 ので、またが、100 を含むいので、100 を含むいので、100 ののので、100 になったいで、100 を含むいので、100 になったいで、100 になっ	- 600グラン海が成場とは密度が成く、バスの東京での回動とり (第22 の心が思うしてごの高度が開入して、所知:「開発」で開入した。 185 に対する地域がある。これでは、 185 東京連携を開発の表の方針だったできかまうに考えている。 185 187 187 187 187 187 187 187 187							
	WALDLE できること  マイカーの利用を終える  の機能の関係している性能を  の機能のでは、アイントの利用を  の機能のでは、アイントの関係を  の機能のでは、アイントの関係を  の機能のでは、アイントの関係を  の機能のでは、アイントの関係と  の場合のでは、アイントの関係と  の場合のでは、アイントの関係と  の場合のでは、アイントの関係と  の場合のでは、アイントの関係と  の場合のでは、アイントの関係と  の場合のでは、アイントの関係を  の場合のでは、アイントの関係を  の場合のでは、  のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	・「日後日等地・一・の情報とした自分開発を放送して目的ではついます。 ニタ・パスの対象性を受ける。上では、一・の人が多く、何日等や対式 通常療法・上の経行権を与えられます。							
		東 は 機 会 交 ・							
	姿をえら 石製の理業で動活理常 響	総合交通計画の策定に 知や上げ、にませる可能とする にはませるでは、これではなる を対象が、これでは、ままでは、 を対象が、これでは、 を対象が、 をが、 をが、 をが、 をが、 をが、 をが、 をが、 を							
	Here Judicial Carlo Carl	TELL STATE OF THE							
	出典::柏市総合交通計画(2010年3月)								
	図 4-34 柏交通だより	(仮称)」のイメージ図							

# 4.3 実施施策の関連主体

実施施策の関連主体は下表のとおりです。

表 4-4 実施施策の関連主体

短期/	方針		施策	柏市	民間事業者(交通)			- 民間事業者			
中長期					鉄道 事業者	バス 事業者	タクシー 事業者	(その他)	病院	警察	住民
	幹線・フィーダー(支線)公共交通		A. 公共交通軸の強化	•		•					
	地域状況に応じた	での効率的な運行のための施策	B. 企業バス等との連携検討	•		•		•	•		
	バス路線への再構 築	日常生活に根ざした交通導入のた	C. コミュニティ交通の運行形態見直し	•			•				
			D. 公共交通空白不便地域における対応策の検討	•		•	•				•
短期	大学工 じゅのの		E. 駅前広場の待合環境整備	•		•	•				
	交通モード間の円差	育化を推進	F. ICT を活用した情報案内の実施	•	•	•					
	高齢者等に配慮した	た交通環境の構築	G. 車両バリアフリー化の促進	•		•	•				
	中心市街地活性化	こ向けた公共交通と自動車の共存	H. ショットガン方式のタクシープール導入	•			•			•	
	公共交通利用促進		I. 公共交通の周知施策	•		•					
		幹線・フィーダー (支線) 公共交通 での効率的な運行のための施策	a. 公共交通軸のバス路線再編	•		•					
			b. 交流交通軸の強化	•		•					
	地域状況に応じた バス路線への再構 築		c. フィーダー系統路線の見直し	•		•					
			d. バス速達性向上のための道路整備促進	•							
			e. 新たな交通サービスの提供	•		•		•			•
		日常生活に根ざした交通導入のた めの施策	f. 公共交通空白不便地域における公共交通の適切 な見直し	•		•	•				
中長期			g. 周辺施設との連携検討	•		•		•			
	交通モード間の円滑化を推進		h. 鉄道駅の交通結節点の機能強化	•	•						
			i. 賑わいのある拠点の整備・強化	•		•		•			
			j. 地域施設と連携した快適な待合環境の確保	•		•		•			
			k. サイクル&バスライドの促進	•		•					
	高齢者等に配慮した交通環境の構築		. 高齢者等の移動支援	•	•	•	•	•			•
	中心市街地活性化に向けた公共交通と自動車の共存		m. 中心部への自動車流入抑制	•		•		•		•	
	公共交通利用促進		n. 公共交通の周知施策	•		•		•			

# 4.4 実施施策のスケジュール

実施施策のスケジュールは下表のとおりです。

表 4-5 実施施策のスケジュール

方針		短期/	施策	短期					中長期			
		中長期		2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年				
	幹線・フィーダ ー(支線)公共交 通での効率的な 運行のための施	短期	A. 公共交通軸の強化	検討	実施			$\rightarrow$				
		中長期	a. 公共交通軸のバス路線再編			検討			実施			
			b. 交流交通軸の強化						実施			
		中長期	c. フィーダー系統路線の見直し						見直し実施			
		中長期	d. バス速達性向上のための道路整備促進				検討		実施			
に応じた	***	中長期	e. 新たな交通サービスの提供			検討			実施			
バス路線 への再構		短期	B. 企業バス等との連携検討	検討	実施				見直し実施			
築		短期	C. コミュニティ交通の運行形態見直し	検討		実施		<b></b>				
	日常生活に根ざ	中長期	f. 公共交通空白不便地域における公共交通の適切な						目			
			見直し						見直し実施			
	ための施策	短期	D. 公共交通空白不便地域における対応策の検討	検討	実施			<b></b>				
		中長期	g. 周辺施設との連携検討			検討			実施			
		短期	E. 駅前広場の待合環境整備			実施		<b>&gt;</b>	見直し 実施:			
		短期	F. ICT を活用した情報案内の実施			実施		<b>&gt;</b>	見直し 実施:			
交通モー	ド間の円滑化を	中長期	h. 鉄道駅の交通結節点の機能強化						実施 ■			
推進		中長期	i. 賑わいのある拠点の整備・強化			検討			実施 ■			
		中長期	j. 地域施設と連携した快適な待合環境の確保			検討			実施			
		中長期	k. サイクル&バスライドの促進			検討		<b>\rightarrow</b>	実施 ■			
高齢者等	に配慮した交通	短期	G. 車両バリアフリー化の促進	実施				<b></b>	見直し 実施			
環境の構築		中長期	I. 高齢者等の移動支援			検討			実施			
	中心市街地活性化に向け た公共交通と自動車の共		H. ショットガン方式のタクシープール導入		実施			<b>—</b>				
た公共文	四C 日到半の共	1 - 45	m. 中心部への自動車流入抑制			検討		$\rightarrow$	実施			
公共交通	利用促進	短/中長期	I. n. 公共交通の周知施策	実施		_		<b>-</b>	見直し 実施			